



廣報

～市民と行政の架け橋～

にかほ

市内勢初の

榮冠！

写真：第6回TDK旗争奪学童野球大会の決勝戦で力投する
平沢野球スポーツ少年団・遠藤投手（関連ページP6）

主な内容

- 民生委員・児童委員の役割 P 2
 - にかほ市出前講座の紹介 P 4 ~ 5
 - まちの話題 P 6 ~ 7
 - 行政情報チャンネル P 10 ~ 13
 - 暮らしの掲示板 P 14 ~ 16
 - 戸籍の窓口、5月のカレンダー P 17

vol.184

vol.184
2013 5.15

がんばろう東北



「ハレハラする」。
「元のとおり、元のとおり」。

しく、老人らしく、無理をしない。もうひとつは、「そのとき、そのとき」。昔と違い、今は話さなければ分からぬこと、伝わらぬことがあります。あとで話そうとする誤解を生むことが多いですね。また、自分の体調のことを話さないでいると、まわりに迷惑を掛けてしまうことがあります。今現在の自分のことと正確に伝えることが大事です。

柴田 美津さん
(前川2区／95歳)

前川地区は嫁ぎ農業のことは何せ分からぬ中、農村女性の地位向上のため旧金浦町農業協同組合婦人部の会長として長年に渡り尽力され、昭和43年から15年間は全県の会長も務められました。現在は秋田県遺族連合会女性部顧問を務められています。

3月、地元前川地区で開かれたミニーデイに招かれ、いま感じていることや考えていることを話す機会がありました。また、簡単な言葉を書き込んだカレンダーを参加者にお配りしました。一緒に「春よ来い」を歌つたり、輪投げ遊びをし、楽しい時間を過ごすことができました。

ミニーデイに参加している人たちの中には、かつて農協婦人部活動で一緒に活動してきた仲間たちが多くいました。その人たちに伝えたことは「らしくする」ということ。自分ら

朝、昼、晚200歩 每日まいにち

（）この年齢は変わらない

旧金浦農協婦人部活動では様々な事業を行いました。農村女性の地位向上を目的にした、農協女性誌「家の光」の全戸配布や、生活費の家計簿記帳運動は全国でも高く評価されました。農休日を設けて会館に集まり家の光を輪読する勉強会や、家計簿を付けひと月に必要なお金を把握することの大切さを理解する運動でしたが、秋田県内でも先駆けでした。

こういった活動をしてきて今思うことは、年を取つても社会参加することの大切さです。それには色々な形があります。友だちとの手紙のやり取りもそのひとつ。そうすると、年はとつてもこころの年齢は変わりません。

年を重ねても希望をもつて、一人でできな

いことは、周りの人の助けを借りながら、感謝する気持ちを忘れないようにして過ごしていきた

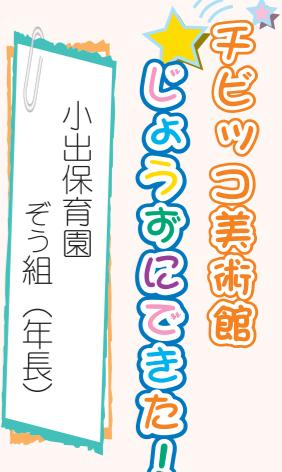
いものです。

しき、老人らしく、無理をしない。もうひとつは、「そのとき、そのとき」。昔と違い、今は話さなければ分からぬこと、伝わらないことがあります。あとで話そうとする誤解を生むことが多いですね。また、自分の体調のことを話さないでいると、まわりに迷惑を掛けてしまうことがあります。今現在の自分のことを正確に伝えることが大事です。



作品名：こいのぼりの合わせ鑑

「うるさいやつはいたくないでしょ。」
「うるさい組のみんなで、ここのはつを作ったたよ。色とりどりの絵の具でウロコを描いて貼つつけました。



企画・編集／にかほ市広報委員会 発行／にかほ市役所
〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田 1番地
☎ 0184-43-3200（代表）☎ 0184-43-7510（直通）
電子メールアドレス info@city.nikaho.lg.jp

広報にかほは、にかほ市ホームページでもご覧いただけます

第29回 国民文化祭・あきた2014

平成26年10月4日(土)~11月3日(月・祝)